

- 臨床実習開始前に必須の項目であるが、各施設により実情が異なるので、ここでは学習項目について例示する。
- 各大学は例示に準拠した学習・評価項目を作成する。
- 手技が確実に行われるなら、左右は問わない。

準備

- 爪を短く切っていることを確認する。
- 手術着に着替える。(白衣の場合は肘上まで袖をまくる)
- 手術用帽子を頭髪が露出しないように着用する。
- 手術用マスクを口・鼻を完全に覆うように着用する。

術前の手洗い(ブラシを使う場合)

※ブラシを使わない手洗いを指導することも可

- 手指、前腕を流水で洗い流す。
- 手洗い用消毒液(7.5%ポピドンヨード、4%クロルヘキシジンなど)により指間、指先に注意を払いながら手指から肘まで手もみ洗いする。
- 流水で消毒液が中枢側へ流れるように手指から肘までを洗い流す。
- ブラシを用い手洗い用消毒液による摩擦洗浄を左右交互に手指、前腕末梢 1/2、前腕中枢側から肘部の3部に分けて行う。
- 流水で消毒液が中枢側へ流れるように手指から肘までを洗い流す。
- ブラシを替えて同様の摩擦洗浄、流水による洗い流しをもう一度行う。
- 滅菌タオルで指先から中枢側へ肘部まで拭く。
- アルコール含有速乾性擦式消毒剤を手指に擦り込む。(省略可)

滅菌ガウンの装着

- 滅菌ガウンを無菌的に取り出す。
- 滅菌ガウンを周囲に触れないように手を伸ばして広げる。
- 滅菌ガウンが周囲に触れないように注意しながら介助者へ右肩紐の端を渡す。
- 介助者に右肩紐を持ってもらい、左手で左肩紐を持ってガウンを広げながら、介助者に触れないように注意して袖口へ向かって右手を挿入する。
- 介助者に左肩紐を持ってもらい、介助者に触れないように注意しながら袖口へ向かって左手を挿入する。
- 介助者が後で肩と腰の紐を結んでいる間に正面の紐の結び目をほどく。

- 左手が背部に触れないように注意して紐を左から右に回し、それを右手で受ける。
- 身体の前面で紐を結びガウンで全身を被う。

手袋装着

- 右手で左手袋の折り返し部分(裏面に当たる部分)を持って取り上げる。
- 左手に適切に手袋を装着する。
- 左手の4本の指を反対側手袋の折り返しの部分(表面に当たる部分)に入れて取り上げる。
- 右手に適切に手袋を装着する。
- 手袋でガウンの袖口をすべて被う。
- 指部の部分のねじれをとり手袋を手十分にフィットさせる。

* 手術準備

- * 滅菌したピンセットまたは鉗子により皮膚消毒薬(7.5%ポピドンヨードなど)の十分にしみ込んだ綿球を容器から取り出す。
- * 手術野の中心より外側へ向かい同心円を描きながら手術野より広範に消毒薬を皮膚に塗り込む。
- * 消毒薬の乾燥後もう一度同様の消毒を行う。
- * 消毒薬の乾燥後、滅菌シートで手術野の周囲を被う。

手術後

- 血液などで汚染されたゴミ(感染性医療廃棄物)を専用のゴミ箱などへ処分する。
(例:消毒に使用した綿球、縫合に使用した手袋、抜糸した糸)
- 手袋をはずした後は流水で手を洗う。